

## 奥日光刈込湖スノーシューハイク山行報告

【山行日】2018年2月12(月) 曇り時々晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 1,800円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、岡、津佐、  
鶴見夕、鶴見ヒ、松館

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:00＝山のレストハウス 8:40/8:55＝湯元 P9:00/9:30～蓼ノ湖 10:00～小峠 10:30/10:40～刈込湖 11:05/11:45～小峠 12:30～蓼ノ湖 13:00～湯元 P13:30/13:45＝山のレストハウス 13:50＝ホテル「おおり」 14:00/15:00＝栃木市運動公園 P16:30



今日はスノーシュー第3弾で霧ヶ峰に行く計画だったが、荒天の為奥日光刈込湖に変更した。奥日光もあまり良い天気ではないが、刈込湖のコースは谷沿いを歩くので、風の影響をあまり受け



ないで済む。日光の一番奥、湯元温泉に着き「山のレストハウス」でスノーシューを借り、湯元駐車場に車を止める。準備を整えストレッチが済んだら出発する。温泉街を抜けて、奥の源泉地まで行くと刈込湖への登山口に出る。ここでスノーシューを付け、九十九折れの急坂を登り金精道路を横切る。金精道路に出ると風の通り道で強風にさらされ、急いで蓼ノ湖に向かって急坂を下りて行く。

いきなり急な下りで、皆さん転ばないように慎重に下る。

窪地に出て谷間を回り込むように下ると蓼ノ湖に出て、湖岸の西側のを通り北側に回って休憩する。

蓼ノ湖はこじんまりした池で、結氷しているが危険なので湖面には出ないように通過する。ここから北東へ緩斜面を横切って登って行き、沢状の道になると傾斜が増し急坂を登るようになる。沢状の

急斜面でスノーシューでの登りがきつくなるが、頑張って登り切ると小峠に着く。山と山の間で風も無いので休憩し、味噌饅頭や菓子を食べてエネルギーを補給する。ここからも夏道は行かず、北に向かって谷沿いに進んで行く。時折薄日が差すようになり、寒さが和らぎ皆さんも楽しそうに歩いている。広く開けた平坦地に出て、ここから大きく東向きを変え、両側から山が迫った所を抜けると前方が開け刈込湖に着く。湖岸は展望の良い雪原で、ここでランチタイムとする。若い人達は大喜びで「ス



ーさんここはとても良い所だよ」と、お互いに写真を撮り合っていた。お湯を沸かし、各自持ってきたカップ麺やサンドイッチ等を美味しくいただき、記念写真を撮ったら下山する。帰りは来た道に戻り、

皆さんも余裕が出ておしゃべりに花が咲いていた。ところが小峠の下りは急斜面で、怖がって腰が



引けると転んでしまう。大騒ぎしながら無事に下り切り、  
蓼ノ湖畔で最後の休憩をとる。金精道路まで登り返すと、  
O嬢が「急な下りは降りたくない」と言い、自信が無い人は  
金精道路を下って駐車場に向かった。駐車場に着き靴を履き  
替えたなら温泉に向かう。ホテル「おおるり」はタオルが  
付いて500円で入れ、浴場も広く登山者にはありがたい。  
温泉から出て駐車場に行くと、ホテルの前の広場に雪の  
「かまくら」が並んでいた。

雪まつりのイベントが行われ、「かまくら」の中に氷の彫刻の作品が展示されていた。「こんな素晴らしいのを見られてラッキーだね」と喜んで写真を撮っていた。スノーシューが初めての方達も「とても楽しかった」と喜んでおり、中止にしなくて良かったと思った。